

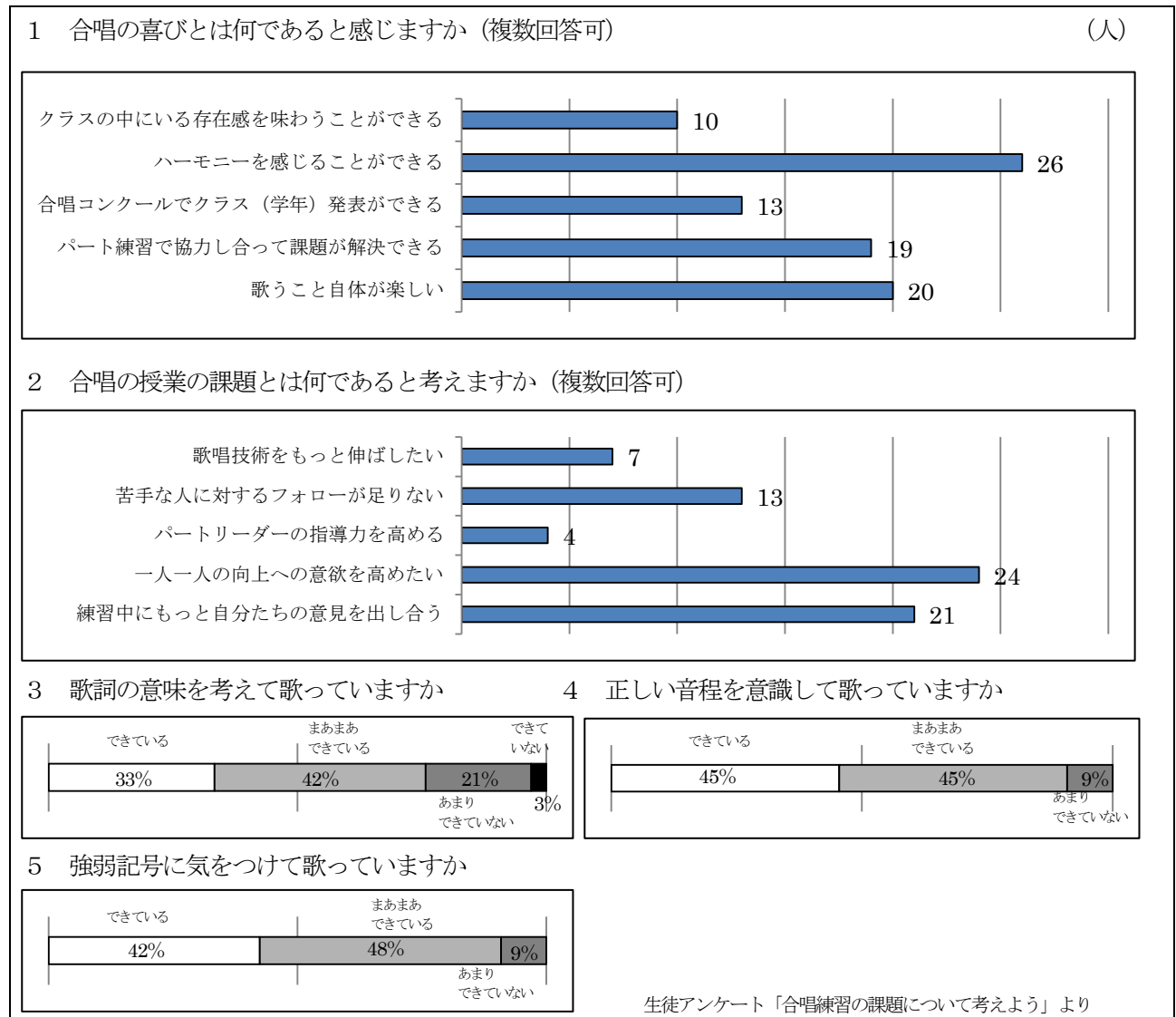
第3学年音楽科学習指導案

平成29年9月22日（金）
第5校時 第一音楽室

1 題材名 詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌おう。
～マインドマップの活用による「主体的・対話的で深い学び」～

2 題材について

(1) 生徒の実態



本校の生徒は、小学校の段階でパート練習を経験しグループ活動の中で学びを深めていく楽しみを味わっていることから、練習過程の大切さを理解できている生徒が多い。合唱の魅力を楽しみながら（アンケート結果1）、より高次なものにしたいという欲求は高い。しかし、活動の質となると表現の工夫（アンケート結果3、4、5）に関しては、そうして身に付いた知識や技能を必要な場面で主体的に生かそうとする「表現力」にまで昇華できていない現状がある。その原因としては、①自己の達成状況を正しく把握できていないこと ②知識や技能が思考力・判断力と結

び付いていないこと ③知識や技能について実感を伴った定着ができていないこと等が考えられる。この実態を考慮して、身に付いている知識や技能を、必要な場面で生徒自身が主体的に引き出し、よりよいものをつくり上げるために思考・判断し、表現していけるような授業を行いたい。そのために、学習形態の工夫を意識した授業改善を行う。

(2) 題材設定の意図

本題材は、表現の基礎的な能力の定着と豊かな表現力の育成を目指すものである。作詞者の思いに立って歌詞の訴える意味を追究したり、作曲者の工夫を読み取って詩の世界観にふさわしく付けられた旋律との関連を学んだりすることで、楽曲に対する思いや意図を表現者として体現する喜びを味わわせる。中学校3年生の段階では、一人一人の生徒がもつ音楽に対するイメージや曲想の捉え方を尊重し、生徒が主体的に表現方法を追究できるための学習形態が重要であると考え。そこで、詩や曲の背景をもとに、そこに込められた思いを生徒一人一人が主体的に考え、これまでに培ってきた知識や技能を引き出しながら思考・判断し、集団の切磋琢磨によって曲をつくり上げていく学習を展開する。その手立てとして、個々の思いを引き出し言語化する場面や、思考を広げたり深めたり、練り上げたりする場面で、マインドマップを活用する。(P8『マインドマップ作成のイメージ』参照)。題材のねらいを中心に置き、その表現の工夫について「こうしたらいいのではないか」という思考を可視化させていきたい。マインドマップで表わされた言葉を、生徒同士共有し合ったりさらに深め合ったりする。そして、合唱表現の工夫に結び付け、個々のマインドマップを基に自己の活動を評価する。この繰り返しにより、合唱表現の高まりを味わわせていきたい。よって、このマインドマップの活用が、本題材の活動の柱となる。

3 題材の目標

- (1) 歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】
- (3) 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。【音楽表現の技能】

4 教材について

「青空」(青木景子 作詞 横山潤子 作曲)

4分の4拍子でありながら、変拍子を感じさせるようなピアノの前奏が幻想的な物語の始まりを連想させる。「あたりまえに美しい音楽を聴いていよう」「とてもふつうで美しい青空が」など、想像力をかき立てる抽象的な言語表現による歌詞も、様々に意味を捉えることができるところが興味深い。また、その抽象的な歌詞に付けられた美しい旋律は、時に不協和音や二拍三連符の不安定なリズムを介して、詩のもつ世界観をどんどん高めていく中間部も魅力的である。指導観としては、①語感(言葉のもつ雰囲気)と曲想とを関連させる学習、②不協和のハーモニーや二拍三連符のかけ合いによる和音の響きを知覚・感受する学習、③細かく変化する強弱や速度、質感

を工夫する学習等に適していると考える。生徒自身の思いや意図を前面に出しながら、自由な発想を促して学びを深め、合唱づくりを味わうことができる教材である。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動


	歌唱ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。			歌唱ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと
〔共通事項〕ア	速度	強弱	旋律 リズム	テクスチャ
イ	<i>rit. a tempo</i>	<i>cresc. dim.</i>	ルーズ 三連符	和音
主な学習活動	○速度のゆらぎ (<i>poco allargando</i> 含む) を工夫する。 ○詩情と速度の変化の関わりを捉える。	○二拍三連符の連続と <i>cresc.</i> を関連させて表現方法を工夫する。 ○2パート練習を通して二拍三連符が折り重なる独特な響きによるフレーズのまとめ方を捉える。		○語感を生かした表現を工夫する (<i>dolce</i> を含む)。 ○子音や母音の入れ方、響かせ方を工夫する。 ○不協和から協和への落ち着きに向かう進行の表現を工夫する。

6 評価規準 (題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準)

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	①歌詞の言葉の意味や歌詞の表す情景や心情、曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくる要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成など)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能(発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など)を身に付けて歌っている。
1時	①		
2時		①	
3時	②	②	
4時	①	①	
5時		②	①

7 指導と評価の計画

時	○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準
1	<p>○学習の仕方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップ活用について理解する。 ・簡単なマインドマップ作成により、活用の効果を理解する。 ・頭に浮かんだことを自由に書いていく。 <p>○歌詞の意味を読み解き、曲想と歌詞のもつ雰囲気と関連させる学習への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴く。 ・知識構成型ジグソー法を用いて、一人一人の感じた歌詞の解釈について話合う。 <p>→エキスパート活動①「はるかな夏の方角へ 白い耳を傾けて」の部分の意味を想像する。</p> <p>【S】 …生徒に気付いてほしい視点</p> <p>【S】 高い音から始まる「はるかな」だから、遠い方向のイメージがある。</p> <p>【S】 白い耳？寒いのかな。女性かな。</p> <p>→エキスパート活動②「とてもあたりまえに美しい音楽」「とてもふつうで美しい青空」の意味を想像する。</p> <p>【S】 「とても」と「ふつう」では対称的な意味の言葉だけど…</p> <p>【S】 クレッシェンドしていることから強調すべき言葉かもしれない。</p> <p>【S】 日頃気付いていない「美しいもの」を言っているのかな。</p> <p>→エキスパート活動③「わたしは静かに幸せになる」とはどういう幸せのことなのか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー活動を行う。パート別に各エキスパートが捉えた解釈を伝える。 <p>【S】 「しあわせになる」の前に八分休符を置いて、あえて区切って歌うところが静けさを感じる。</p> <p>【S】 「しあわせになる」はリタルダンドしている。静かな幸せをかみしめるようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー活動でまとめた内容を全体で集約し、マインドマップ「歌詞」に関わる部分を加筆する。 	<p>○マインドマップを活用して「感じ取ったことを出し合って合唱をつくり上げる」学習について見通しをもたせる。</p> <p>○曲の全体像をつかませる。</p> <p>【T】 全体の響きを味わって聴こう</p> <p>○作詞の青木景子詩集『道の途中で（「青空」収録）』を参考資料に楽曲の世界観を想像させる。</p> <p>○自由に意見を出し合う雰囲気をつくる。</p> <p>○音の動き方や強弱、速度、パートの重なりが変化する様子と関わらせて歌詞の意味を考えてさせる。</p> <p>【T】 …ほしい「気付き」を引き出す発問</p> <p>【T】 旋律の動きは怎么样了？</p> <p>【T】 言葉を発音してみると気付くことはないかな？</p> <p>○話合いに参加が困難な生徒に対しては、個別で二択による簡単な質問を投げかけて答えさせるなどし、思考を促す。</p> <p>【T】 「とても」とは、普段どんなときに使うものかな？</p> <p>【T】 強弱の変化にも注目してみよう。</p> <p>【T】 「ふつう」という言葉から想像するものは何だろう。</p> <p>【T】 「しあわせだ」というセリフを大きい声で叫んだときと小さな声でつぶやいたときでは、どんな違いがあるかな。やってみよう。</p> <p>★歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>


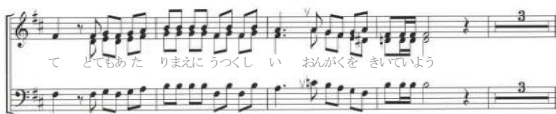
	<ul style="list-style-type: none"> ・詩情について感じたことを個人のワークシートにまとめる。 ○詩情と旋律との関わりを感じながら歌う。 ・冒頭部分のパート練習と合唱練習をする。 ・マインドマップを使用し、本時の成果を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を深く理解することにより表現活動への意欲を高めさせる。 ○言葉ひとつひとつがその意味にふさわしい旋律やリズムで表現されていることを理解させる。
<p>2</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容や曲想を味わって歌う。 ・パート練習や2パート練習をする。 音程 ・各パートでタブレットPCを使用して録画し客観的に達成度を把握しながら練習する。 ・下の部分を抜き出して合唱し 和音進行 の特徴を味わう。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[S] ソプラノを支えるアルトとテノールのハーモニーが大切。</p> <p>[S] 不協和な感じが不思議な雰囲気をつくっているようだ。</p> <p>[S] 三連符のところは広がる感じがする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱を録音し、不協和が醸し出す独特な雰囲気を含む 和音進行、強弱、速度の変化 等の練習の成果を確認する。 ・マインドマップで本時の成果を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいを明確に捉えて録画し、自分たちの達成状況を学習材料にさせる。 ○巡回しながら個別に歌唱指導をする。 <p>★歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[T] 各パートで、どんな重なり方、関わり方をしている？</p> <p>[T] 合わせづらい音程にしている意味もありそうだけど？</p> <p>[T] 特徴あるリズムもあるね。</p> </div> <p>★声部の役割と全体の響きとの関わりに関心もち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】</p>
<p>4</p>	<p>「本時の学習指導（4／5）」参照</p>	
<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱の高まりを感じながら歌う。 ・合唱を録音し、視聴しながら成果と課題について確認していく。 ・マインドマップをもとに学習を振り返り、学習の成果を個人でワークシートにまとめる。 ①詩や曲の背景を理解することの大切さ ②歌詞に込められた思いを生かす表現の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○マインドマップは合唱コンクールに向けた教室での練習において活用させる。 <p>★声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】</p> <p>★歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の技能】</p>

8 本時の学習指導 (4 / 5)

(1) 本時の目標

- 詩情を聴き手に伝えるための「語感」を生かして工夫して歌う。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ★具体的評価規準 (評価方法・手立て)
<p>○本時のねらいをつかみ、学習内容を理解する。</p> <p>・冒頭部を歌う。</p>   <p>・正しい音程によるハーモニーを確認して歌う。</p> <p>・語感を生かすための子音や母音の発音の仕方 (入れ方) について、様々な歌い方を試す。</p> <p>・本時のねらいに必要な歌唱の基本を理解し、語感に留意して歌う。</p>	<p>○比較的合唱しやすい冒頭部分を用いて、語感を生かした表現の工夫についての学習への関心を高める。</p> <p>○子音・母音の発音を支える、音色や音程に留意して歌わせる。</p> <p>○発音に着目した様々な歌い方を試させ、どれが一番ふさわしいか選択できるようにする。</p>
<p>聴き手に詩情を伝える「語感」を表現する方法を考えて、工夫して歌おう。</p>	
<p>○語感を生かす表現の仕方を考える。</p> <p>・マインドマップ「語感」に加筆する。</p> <p>・語感を生かす工夫に関わる基本の歌唱法についてグループで意見を出し合う。</p> <p>[S] …生徒に気づいてほしい視点</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[S] 子音をはっきり発音する</p> <p>[S] 特にSやHの発音!</p> <p>[S] 母音の響かせ方も大切 など</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[S] 全体でイメージをそろえる必要もある。</p> <p>[S] きっと子音の発音が強すぎてもダメだ。</p> <p>[S] 歌い出しの「は」が高音だから難しい。</p> <p>[S] かけ合いになり言葉が絡み合う部分に曲名の「青空」という大切な言葉が出てくる。ごちゃごちゃしないかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>子音…</p> <p>母音…</p> <p>重点をおく言葉…</p> </div>	<p>○語感 (言葉のもつ雰囲気) について具体的に捉えさせ、学習のねらいを明確にする。</p> <p>[T] …ほしい「気づき」を引き出す発問</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[T] 語感を生かして詩の気持ちを表現するためにどんな歌い方の工夫が考えられる?</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[T] 他に付け足せることはあるかな? 周りの人と相談しながら自分のマップにも付け足してみよう。</p> </div> <p>★歌詞の言葉の意味や歌詞が表す情景や心情、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている【関心・意欲・態度】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[T] 課題に挙げたことについていろいろな歌い方を試して、録画で自分たちのでき具合を確認しながら練習を進めてみよう。</p> </div> <p>○リーダーに学習の課題をホワイトボードに書かせる。</p>

○語感を生かす表現を工夫して歌う。

(1) 各パートでごとに練習する。

- ・必要に応じて部分的にタブレットPCで録画し、形成的評価として活用しながら練習を行う。
- ・様々な歌い方を試しながら進める。

【S】録画してみると、想像していたより言葉が聞こえてこない。

【S】もっと強めに子音を発音しよう。

(2) 2つのパートで合わせて練習する。

- ・かけ合うように折り重なっていく部分とユニゾンの部分の言葉の絡み方を捉える。
- ・意見交換しながら練習を進める。

【S】子音を優しく入れてもはっきり聞こえる。

【S】声の音色もそろっていないと言葉に説得力がない。

【S】出だしの「はるかな」の「は」。
高音からの始まりだから正しい音程にも注意しなければ言葉がなおさら聞こえてこない。

(3) 合唱を録音し、本時の学習の成果を確認する。

- ・**全体** 録音を聴き、マインドマップをもとに学習の成果を振り返る。
- ・**個人** ワークシートに気づいたことをまとめ、本時の学習をふりかえる。

【S】言葉の意味にふさわしい発音の工夫があることがわかった。

【S】みんなで子音をそろえると、言葉の意味がよく伝わるような気がした。

【S】言葉をそろえると音程も整ってくる。

【S】「やっているつもり」ではなく大きさに表現することで聴き手に伝わる。

○わざとふさわしくない歌い方を試すことで、対称的な感覚を体感させる。

強すぎる発音 ← 柔らかい発音、子音を長く取る発音

アゲた気味の冒頭部 ← 音程と発音に留意した冒頭部

声の音色バラバラに歌う ← 声の音色を合わせて歌う

【T】子音の発音にも種類があるね。

【T】授業の最初にやった発声練習（母音の発音や響き）も生かせるのでは？

○2パートで歌わせることにより互いの声を聴いて歌わせる。

○歌唱技術に関わる指導を適宜入れながら進める。

【T】子音をはっきり、とは強く発音するだけ？

【T】言葉に説得力を宿す歌い方の工夫は？

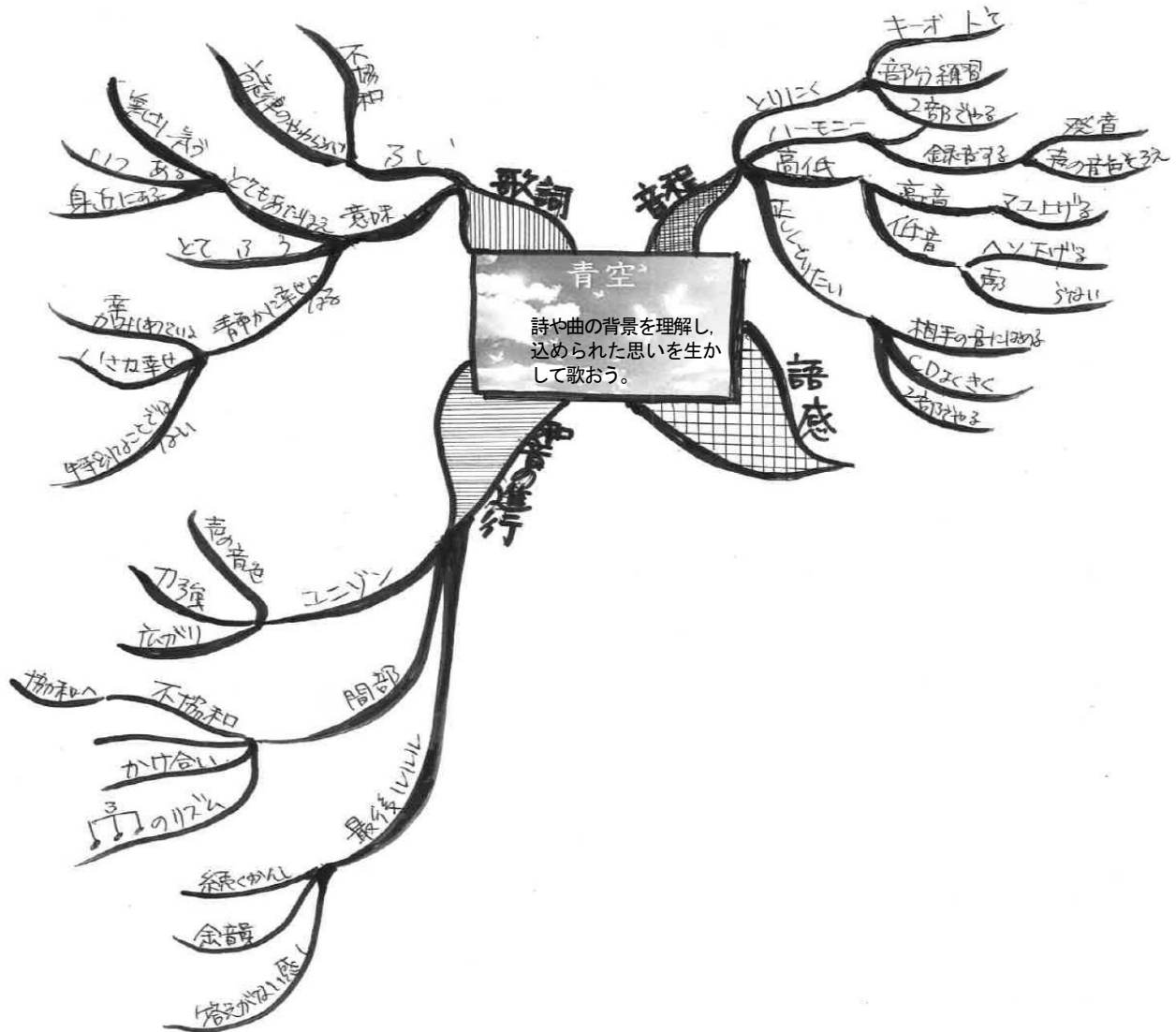
★音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】

○聴き手への「言葉の伝わり方」に焦点を絞って合唱させる。

○聴き手への「言葉の伝わり方」に焦点を絞って振り返りをさせる。

【T】学習を通して聴き手の側になって自分たちの合唱を聴いたとき、「言葉の伝わり方」「歌詞の訴える意味の説得力」はどう変わっただろうか？

マインドマップ作成のイメージ



- ①中心に題材のねらいを置く。ねらいを捉える
- ②この題材で学ばせたい「歌詞の意味を深く捉えること」「正しい音程が生み出すハーモニー」「和音の進行」「語感」について枝を出す。課題を理解する
- ③それぞれの枝から、それに関わる課題を記入していく。気づく 考える
- ④課題の先には、課題解決のための練習方法を加筆し、練習の見通しをもつ。主体的な学び
- ⑤配慮の必要な生徒に対しては、視点を明示する。
- ⑥マインドマップ1枚で、ねらいの統一、前時までの学習についての確認、曲を形づくる要素、表現の工夫に関わる課題、学習の成果等がわかる。メタ認知 深い学び
- ⑦具体的な練習方法が見える。課題の可視化
- ⑧リーダーを中心としたパート練習が活発になる。対話的な学び
- ⑨合唱コンクールに向けたクラス練習にも活用できる。

自分たちの思いやイメージが聴き手に伝わるような歌い方を工夫しよう……「青空」



- 復習その1。「花（滝廉太郎 作曲 武島羽衣 作詞）」から……歌詞と旋律の関わりとは？
- 復習その2。「COSMOS（2年）」より「なつのくさはらに ぎんがは たかくうたう」の部分。語感に関して考えられる歌い方の工夫を挙げよ！

（1）「青空」を聴いてみよう。

1 s t . イメージ

（2）エキスパート活動。3グループにわかれて歌詞の意味について話合ってみよう。

①はらかな夏の方角、とは？ / 白い耳を傾けて……って、どんな耳？！

②とてもあたりまえ？ / とても美しい？ ……言葉の使い方が不思議。

③わたしは静かに 幸せになる……この人は一体どんな心境にいる？

（3）ジグソー活動。パートのメンバーに戻って、エキスパート活動で得た情報を伝授し合って、「ほお！」「へえ〜！」と感じたことをまとめておこう。

（4）個人作業。曲をもう一度聴き「どんな気持ち」を歌っているのか感じたままに書いてみよう。

自分たちの思いやイメージが聴き手に伝わるような歌い方を工夫しよう……「青空」



○音の重なり、リズム、拍子、強弱、速度…などをどう工夫して合唱をつくる？

	注目！	歌って試そう！そして感じ取った特徴を書く。
音の重なり		
和音の進行		
強弱	①どんな変化をしている？ ②どんな効果を感じる？	
速度	①allargando (アラルガンド) ってなんだ？ ②どんな変化をみせる？ ③どんな効果を感じる？	

○「青空」の学習をふりかえろう。

♪自分たちの合唱を録音し、「聴き手」になって評価してみよう。

◆音の重なり方…

◆強弱表現の工夫…

◆速度変化の工夫…

♪「詩情を聴き手に伝える」学習で学んだことをまとめよう。
